

事業所名 児童デイサービスまはろ さいたま辻（放デイ）

支援プログラム

作成日 R6 年 11 月 1 日

法人（事業所）理念		感謝を増やし幸せを作る		
支援方針		児童の放課後の家となれるような環境を作る		
営業時間		放デイ/平日 14時～17時半、短縮 11時半～17時半、休校日 11時～17時半	送迎実施の有無	あり
		支 援 内 容		
本人支援	健康・生活	排泄トレーニングや手洗い、歯磨き、身だしなみなどの基本的な生活習慣を学べる場の提供 日々健康管理や体調維持を意識し、児童の健康状態のチェック		
	運動・感覚	公園などの外出時や室内運動遊具を使用しての粗大運動、スライムや粘土・シール貼りなどでの微細運動など、全身の筋肉・感覚の発達をうながせる支援をおこなう 児童個々に必要な筋力向上トレーニングや姿勢（体幹強化）トレーニング、デュアルタスクでのトレーニングを適宜おこなう		
	認知・行動	行動の切り替えや終わりなど、児童個々にあった示し方（絵カードや身振り手振り）で児童が認識できるよう支援し、行動に移せる環境を作る 活動を通して個数や色、大きさの理解や力のコントロールができるように支援をおこなう 活動を通して興味の幅を広げることができるような環境を作る		
	言語コミュニケーション	デイでの生活や遊びを通し、自分の伝えたいこと・手伝ってほしいときの助力の求め方など、児童の特性に合わせて円滑にコミュニケーションがとれるようにしていく支援をおこなう。そのなかでデイという集団生活の場を活かし、児童同士で円滑にコミュニケーションがとれるようになる支援をおこなう。 文字を読む・書くなどの学習支援をおこなう		
	人間関係社会性	まずはスタッフとの信頼関係構築から入り、家以外の場所にも安心できる・過ごせる場所があることを認識してもらう。その後、他の児童との間にスタッフも入りつつ、児童同士の関わりを通して「他者」がいる生活を知る機会を与える 集団活動の中で他者との間にルールがあることを伝える、また適切な距離感がはかれるように支援する		
家族支援		親子の愛着関係の安定への助言 障害特性に応じた家庭環境への助言、配慮	移行支援	他放課後デイと並行利用する場合における利用先との連携 様々な場所で習得した行動をデイや家でも同様の行動を起こせることを目指した連携
地域支援・地域連携		学校や保育所、医療機関との連携や調整	職員の質の向上	事業所内研修、外部研修の実地 療育や制度に関する事業所内スタッフミーティングの定期開催
主な行事等		季節ごとのイベント、食育に関するイベント、運動に関するイベント、誕生日会、避難訓練（火災・地震・水害 年2回以上）		